

# 道の駅とよとみ

社会学部現代社会学科

2年 勝田 菜月

## 1. 実習企業（団体）の概要

山梨県6番目の道の駅として平成10年3月にオープン。国道140号線、緑の屋根が目印になっている。かつて、豊富村は、山梨県のほぼ中央に位置した緑豊かな村で、全国でも有数の養蚕の盛んな村であったが、現在は隣接する玉穂町・田富町と合併し果樹や野菜の栽培が主要な産業となっている。恵まれた自然、田園的景観と風土を活かし、都市住民との交流の拠点として、村のイメージアップとPRを図っている。

- ・開駅 平成10年3月
- ・所在地 山梨県中央市浅利 1010-1
- ・一般財団法人中央市農業振興公社理事長 萩原 一春
- ・駅長 塚田 茂樹

## 2. 実習内容

実際にレジに立ったり、野菜のPOPを作成した。それから実際に農家の方と一緒にトウモロコシの皮むきをしたり、道の駅で作っている加工食品、郷土資料館や直売所を視察した。道の駅とよとみのソフトクリーム販売をしている店長、レストランのオーナーから話を聞かせていただいた。

## 3. 実習の成果

ボランティアやアルバイトの接客で人と関わることは今までも経験してきたが、私の住んでいるところとは違いもっと人と人との距離が近く、今まであまり経験してこなかった人との関わり方がまず学べたと感じている。そして売り場に出ている野菜POPを作成して、どうやったら買いたいと思わせるものが作れるか、その野菜のおすすめの食べ方などどうやったら買った後に役立つ情報を伝えられるかなど考えながら行うことで、お客様の気持ちになって働くという当たり前のことかもしれないが、非常に大事なことも学べた。道の駅はお客様と農家の方との間でやり取りをされていて、もし野菜に問題があったら対応をしなくてはならない。農家さんが作ったものを売り出せない道の駅は運営していくことができないため、うまくやり取りをするのは非常に大変だと感じた。私は職業を選ぶうえで人と距離が近くいられるもの、それだけでなくお客様にとってまた来たくなくなったり幸せを感じていただける職業につきたいと考えており、五日間を通してよりその気持ちが強くなった。

## 4. 実習の感想

五日間インターンシップを体験させていただいて、改めて人と直接関わる仕事の楽しさ、道の駅の魅力、そして見学させていただいた宿泊施設しるくふれんどりい、郷土資料館で豊富の歴史や伝統について学び、インターンシップに参加でき本当に良かったと思う。道の駅とよとみにはレストランがあり、野菜だけでなく地域の人々が作ったポーチ、トウモロコシの焼酎、ソフトクリーム、ソーセージと豊富の特産品をたくさん販売している。私が行ったことある道の駅は野菜と果物などを販売している小さい道の駅だったため、初めはその違いに驚いた。そして道の駅とよとみのレストランは道の駅に売っている季節の野菜を使った料理を出しているため、ここで食べておいしかったものを道の駅で買ったり、本当にレストランでご飯を食べるためだけに来るお客様もいるとオーナーに教えていただいた。私も五日間お昼ご飯は豊富の野菜や果物などを食べていたが、野菜もお肉もご飯も本当においしかった。道の駅とよとみは安心安全に食材が購入できるというだけでなく、イベントがあったりレストランがあることから観光施設にもなっている。私はまちづくりについて興味があって今回このインターンシップに参加したため、実際に地域の特産物を生かした加工品を作っていたり、イベント

を行っていたり、6次産業になっているレストランがあって地域の活性化になっている道の駅とよとみで学ばせていただいたことはとても勉強になった。しかし道の駅の改善点だったり、新しいアイデアをだすなどの貢献はできなかつたため、また、次回インターンシップに行く機会があれば今回の経験を活かし、その場所に貢献できるようにこれからもっと学んでいきたいと思う。

— 実習プログラム —

1日目	8月1日(月)	道の駅とよとみの説明、レジ体験
2日目	8月2日(火)	加工施設見学、郷土資料館などの視察
3日目	8月3日(水)	レジ体験、野菜POP作り、ソフトクリーム売り場見学
4日目	8月4日(木)	レジ体験、野菜のPOP作り、レストラン見学
5日目	8月5日(金)	アンケート調査、レジ、総括